

二次元コード

携帯端末で連続スキャン

ゆいワークス 最大100件読み取り

ソフト開発ベンチャー、ゆいワークス（那覇市、宮城弘岩社長）は十月、カメラ付き携帯電話で二次元コード「QRコード」を連続して読みとるシステムを発売する。通信販売のカタログなどに印刷された商品の発注用のQRコードを次々とスキャンできるのが特徴。従来は商品ごとに専用サイトへアクセスしたり、商品番号を入力していた。連続スキャンできる機能は珍しく、通販会社に採用を働きかける。



カタログの注文を携帯電話で読み取るQRコード

モバイルQRシヨッピングシステム「Qクイック」は、通販サイトにいったんアクセスしてソフトをダウンロード。次に保存したソフトを起動すると、それ以降は携帯でQRコードにかざすだけで、POS（販売時点情報管理）レジのように次々とデータをスキャンし、情報を一括送信できる。カタログ通販や宅配ピザの注文といった利用方法を想定している。消費者は最大百件程度をまとめて注文でき、好きな商品の追加や削除も可能。同社はパッケージソフトとして業者に百万円前後で販売する。

連続スキャンに対応するのはNTTドコモの端末のみ。今春、ドコモがソフト会社に公開しているiアプリコンテンツ開発ガイドの機能が強化されたことで、QRコードを連続して読み取るシステムが可能になったという。対応端末以外からの注文には、従来と同様に商品番号を入力する受注サイトが別途必要。同社は小型バーコードリーダー読み取り機のデータを携帯電話で送信するEDI（電子商取引）システムを、二〇〇一年にいち早く実用化し、小規模店舗などの発注効率化に利用されてきた。Qクイックを使えばバーコード読み取り機なしに携帯電話だけで発注できるため、EDI向けのシステム開発も急ぐ。QRコードはドコモが読み取りソフトを携帯端末に標準搭載したことなどを契機に利用が広がっている。現在はコード化したサイトのURLを名刺などに印刷し、携帯で読み取ってすぐにアクセスするといった使い方が中心となっている。